

写真の中の笑顔

校長 大岩 厚

九州北部が梅雨入りした6月11日、長崎市柿泊サッカー場は、強い風が吹き小雨が舞っていました。悪天候の中でしたが、活水中学サッカー部が市中総体のデビュー戦に臨み、10名の選手達は雨に濡れた芝生の上でボールを追って躍動しました。結果は初回戦敗退でしたが、大会に参加できた事、保護者や関係者の応援をいただいた事に心から感謝したいと思います。

6月は、県高総体・市中総体・九州大会において、各競技ともそれぞれの場面で、1点を争う試合が行われました。部員の皆さんもベストを尽くした事と思います。この紙面でも結果を報告させていただき、ここまで支えてくださった皆様に心からお礼を申し上げます。また、活水中学・高校の公式ホームページには、トピックスでの報告や、Instagramに各チームの皆さんの写真が掲載されていますので、ぜひご覧ください。

部活動生の笑顔の写真を見ると、かつて見た一枚の写真を思い出します。

場所は沖縄の「ひめゆり平和祈念資料館」。太平洋戦争が始まった頃、テニスコートのネット前に、ラケットを持った十数人の女子生徒が笑顔で写っている白黒写真です。ところが、隣の展示室に移動すると遺影となって展示されているのです。先程の笑顔の生徒達が、戦争に動員され、看護活動などを行っている間に命を落として。

改めて、戦争が日常を奪うものだ、ということを感じ知らされる写真です。

ロシアのウクライナ侵攻が続き、世界が不安の中にある今、平和の大切さを意識している方も多いと思います。しかし一方で、戦争を止めるために、あるいは戦争をしないために、私に出来ることなど無いのではないかと、思ってしまう自分がいます。

2019年の秋に、ローマ・カトリック教会のフランシスコ教皇が長崎市を訪問された時、爆心地公園でのスピーチで、アッシジの聖フランシスコの平和の祈りの一部を引用されました。

「主よ、私を平和の道具としてください。憎しみがあるところに愛を、いさかきがあるところにゆるしを、疑いのあるところに信仰を、絶望があるところに希望を、闇に光を、悲しみあるところに喜びをもたらすものとしてください。」と。

紛争の解決や戦争の終結に直接手が届かなくとも、自分の身近なところから、お互いが笑顔で過ごせるよう努力をして、学んでいくことが世界の平和に繋がる。微力だけれど無力ではない事を、この祈りから学び、共に行動していきましょう。

7月行事予定

21 木	20 水	19 火	18 月	17 日	16 土	15 金	14 木	13 水	10 日	9 土	8 金	7 木	5 火	3 日	2 土					
夏期課外(29日)	個人面談(28日)	終業式	球技大会	海の日の日	第2回活水女子大O.C	教会出席日3	特進土曜課外6	40分授業	40分授業	高II企業見学会	高III模試	高I・II模試	定期演奏会(午後)	英語レッスン(小学生対象)	中学オープンスクール	第1回漢字検定(放課後)	中二職場体験(8日)	第1回活水女子大O.C	第1回英検(二次)	高校オープンスクール



各地で熱戦—高総体と市中総体—

【高総体】

6月2日(木)、感染対策のためチャペル・教室・大体育館に分散し、リモート中継にて、生徒会主催の「壮行会」を実施しました。

3日午後、相浦総合グラウンドで行われた総合開会式では、校旗旗手のバレーボール部主将尾崎さん、石村教頭先生、バレーボール部員と卓球部員が堂々行進しました。

4日以降、各会場で熱戦が繰り広げられました。

市民体育館では新体操競技を直接に応援、校内ではバスケットボール部の試合をリモート中継してチャペルや教室から応援を行いました。

写真部も各地で取材撮影を行いました。

主な試合結果は以下のとおりです。選手の皆さん、お疲れさまでした！



☆新体操

団体:準優勝(九州大会へ進出！)

個人3位 城野にこ、

4位 上村瑠花、8位 小島千華



☆卓球

団体 第3位

個人シングルス

ベスト32: 山口れいら、
富永蘭、田島一華、
小田綺音、榎史奈、

ベスト64: 中尾友香、佐々木美緒、古野花蓮

[個人ダブルス]

ベスト16: 富永蘭・小田綺音組、
ベスト32: 山口れいら・田島一華組、
榎史奈・古野花蓮組



☆バレーボール

ベスト8



☆バドミントン

団体 ベスト16

個人ダブルス

ベスト16: 西平咲・松山陽香組、
若杉花歌・本田莉紗組
ベスト32: 井上彩希・濱本桃香組

個人シングルス

ベスト16: 本田莉紗、ベスト32: 若杉菜桜



☆ソフトテニス

団体 ベスト16



☆バスケットボール

ベスト32



☆弓道

団体 決勝リーグ進出ならず

(計16中、17位)



☆サッカー(初出場！)

1回戦: 鎮西学院 0-29



☆アーチェリー

女子個人 優勝 瀬川藍瑠

595点、

九州大会及びインターハイ出場



【市中総体】

6月9日(木)、市中総体出場選手壮行会を実施。3競技に出場。

☆新体操部

団体 優勝(3年連続)

個人 優勝 朝長陽稀、

2位 久米つづり、

3位 平井彩摘

*団体と個人3名が、7月24日(日)の県中総体に出場予定。



☆バスケットボール

(横尾中学校と合同チーム)

1回戦 対土井首46-70で敗退



☆サッカー

(初出場! 男子チームと対戦!)

1回戦 対小江原0-6で敗退

(前半までは0-0と善戦!)



(山口真樹人)

2年ぶりのPTA

総会

5月27日(金)、PTA総会が開かれました。2年ぶりにチャペルに集まって、決算・予算の承認と新年度本部役員の紹介を行うことができました。コロナ感染予防のため時間短縮での実施となりましたが、予算についての質疑応答もあり有意義な総会となりました。
(前田真弓)



〈中学PTA〉

学級PTA

総会の後各HR教室に移動しました。担任からはクラスの様子や進路の話、保護者の方からは家庭での様子などについて情報交換を行いました。和気あいあいとした学級懇談会となりました。
(野田定延)



進路説明会

6月8日(水)、15日(水)6校時に、高I、高IIの進路・カリキュラム説明会が、それぞれ実施されました。高IIの説明会には保護者の方も約70名出席されました。

各学年ともに次年度の選択授業を10月までに決定する必要があります。夏休みに希望大学のオープンキャンパスに参加するなど積極的に情報を収集し、各自の将来についてしっかりと考えていきましょう。
(古田雄介)



高川将来学、継続的な成果(6月分)

「18歳成人 消費生活ここに注意しよう」(教務部)

6月1日(水)5校時、長崎県消費生活センターから江藤徹様を講師としてお迎えし、チャペルで講演をさせていただきました。とくに18歳から22歳の相談内容をくわしく具体例をあげてお話しくださり、契約についての注意や未成年と成人で責任の異なる点、困ったときにはすぐに相談する勇気をもつことを伝えていただきました。「ネット通販の危険性を初めて知った」、「将来、クレジットカードなどを正しく使える大人になりたい」という感想が多くありました。
(浦島明子)

「これからの社会人に求められること」(教務部)

菅公学生服営業部山口公平様に講演していただきました。「仕事で重要なことはお客様からの信頼です」と日頃から気を付けていることをお話しくださりました。第一印象は6秒で決まること、広告に起用されている芸能人の共通点など、多くの話題に生徒の皆さんも興味をもって聞いていました。紹介した商品が1年後2年後にお客様のもとで活躍していることを思いながら営業しているという山口様の姿に、生徒の皆さんも、将来どんな職業に就いているかなど希望を膨らませていました。
(浦島明子)



「生活を豊かに」(家庭科)

しみ抜き体験や洗濯用洗剤の成分の違いや特徴、干し方の工夫、おむつの特徴など衣生活や保育の分野の学びをしました。「ボールペンやファンデーション、しょうゆなどのしみが重曹などを使ってきれいに落ちてびっくりしました」、「干し方のいろいろな方法があることがわかりました」、「紙おむつの吸収力にびっくりしました」、「1人暮らしになるのでこういった知識を活用したいです」などといった感想がありました。
(五貫俊子)



「内面から輝くための女性の美」(理科)

メイクアップアーティストの丸尾先生の講義を受講しました。第1週は「わくわく感を大切にし、自分の心に正直に生きること」など美に向かう心構えを学びました。第2週は「パーソナルカラー」について生徒数名がモデルとなり様々な色を当てながら、自分に似合う色についての説明を受けました。生徒たちはみんな興味津々…、授業が終わってからも、休み時間ぎりぎりまで丸尾先生を質問攻めにし、急いで次の授業に向かっていきました。
(古田雄介)



いじめ防止授業

6月1日(水)、高校II年生を対象に、県弁護士会の鷲見賢一先生による「いじめ防止授業」を行いました。憲法や法律に基づき、「なぜいじめはいけないのか」、「いじめをするとどのような法的責任が生じるか」などを学ぶとともに、鷲見先生のご経験などから、相手の気持ちを考えて、いじめのない仲間づくりをしていくことを学びました。
(大岩厚)



ペンテコステ礼拝

6月9日(木)朝の礼拝で、日本イエス・キリスト教団長崎めぐみ教会牧師の後藤健一先生を通し、ペンテコステのメッセージをいただきました。主イエス・キリスト復活のイースターから数えて50日目、天から聖霊(生きて働く神の力)が降ったことを記念するのがペンテコステです。世界の教会の誕生日でもあります。私たち一人ひとりに聖霊が働き、神様からの絶大な愛をいただき、祝福に与っている恵みに感謝しました。
(石村直義)



今月の聖句

「また、ほかの種は良い土地に落ち、芽生え、育って実を結び、あるものは三十倍、あるものは六十倍、あるものは百倍にもなった。」 マルコによる福音書4章8節

「種を蒔く人のたとえ」は3つの福音書に登場する有名なお話です。たとえの説明も書かれているのが特徴的です。神さまの言葉が種として蒔かれ、それぞれの場所に落ち、どうなったかが例えられています。6月17日に日本国際ギデオン協会から新入生へ聖書贈呈が行われました。毎年この贈呈をいただき、生徒の皆さんの手元には、通常使っているのとは別にもう一冊聖書があると思います。毎朝の礼拝、聖書の授業、終礼、そして教会の礼拝で聖書の御言葉を聞きます。「良い土地に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて受け入れる人たち」です。私たちは、自分が必ずしも良い土地ではないことを知っていますが、主イエス・キリストは、良い土地になるよう手入れをもなさる方です。聖書の御言葉に素直に耳を傾け、心を向けて、その豊かな恵みに与りましょう。
(石村直義)

ライフプランニング

6月21日(火)7校時、高校II年生はメットライフ生命の小林いずみ先生より「ライフプランニング」講義を受け、それぞれが思い描く、進学、就職、結婚、子育て、老後などのライフイベントをプランニングシートに書き込みました。長期的な視点で将来を構想することで「高校2年生の今、何をなすべきか」、その実現に向けてより明確なイメージをもつことができました。この様子はテレビでも放映されました。
(古田雄介)



大会等成績

〈放送〉

NHK杯全国高校放送コンテスト県大会
(長崎県高等学校文化連盟放送専門部・日本放送協会長崎放送局主催)
アナウンス部門 優秀賞 渡辺あい
*全国大会出場

〈平和学習部〉

長崎平和推進協会が主催「国際青年平和交流事業」事業認定
活水高校平和学習部提案事業
「RE:EARTHをもっと身近に」
(山口真樹人)